

## 令和5年度 第3回 政策決定会議 会議録②

- 
- ◆開催日時：令和5年8月30日（水） 16：32～16：54
  - ◆開催場所：第2委員会室
  - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、波積副市長、大下教育長
  - ◆説明者：船橋魅力創造部長、井上観光課長、  
頓花公共建築マネジメント課建築担当特命参事（観光課兼務）、  
有留観光振興担当主幹、瀬尾郷土文化課郷土史担当長（観光課兼務）、竹川主任
- 

### ◆審議事項

岸和田城天守閣耐震対策基本計画について・・・・・・・・・・・・・・・・魅力創造部観光課⇒承認

---

### ◆審議概要

- ◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。
- ◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉岸和田市101年目スタートの年に、市民の誇りとなっている岸和城の耐震化は良い取組。現在、「たいむとりっぷ！藩士の日常」など、新しい発想で岸和田の歴史を振り返る企画展も開催されており、今後も岸和田の歴史的シンボルとして残していく必要があるが、城自体が脆弱な建物になっているので、安全性の観点から耐震化はせざるを得ない。

岸和田城は、単に歴史、文化、シンボルというだけでなく、観光への活用も重要である。観光も、今は量から質へ転換するという流れである。そこに岸和田城も乗っければいいのではないか。陣羽織と兜を使った体験型のものや、他県で実践されている城泊のような取組などPR的、イベント的な使い方で活用することも考えてほしい。また、歴史があり、犬島の花崗岩など貴重な石を使った石垣が相当傷んでいる。長期的に改修していき、石垣自体を頑丈にすれば、今後その上に様々なものも設置できるのではないか。それによって、観光的にはハード面でも充実させられる余地があるので、長期的な考え方で進めてほしい。今の城の建設には寄附が入っている。今回の施工についても寄附を集め、可能ならば石垣の改修も実施する。市民には、だんじりだけでなく城にも投資してもらえよう、取り組んでもらいたい。

〈波積副市長〉岸和田の観光施設として、だんじり会館や自然資料館には魅力があるという話になるが、岸和田城は必ずしもそうっていない部分がある。城は昔のものが再現されておらず、私の知人の言でもあまりにも西洋建築のような感じと言われた。現時点では難しいため、将来的に文化庁を説得できる五層構造のものを造ることを目標にし、クラウドファンディングを含めた長期的な資金集めをPRする。そういった観光の目玉として利用することを考えてもらいたい。長期的にというのは100年であってもいい。50年では無理だと思う。

もう一つ残念なのが城の展示である。いい展示をしているにもかかわらず、ガイドがないと解らない。例えば、戦国時代と幕末の2種類の鎧について、説明書きはあるものの、誰にも読まれていない。吹き出しを使うなど、お金をかけなくても2つの違いを表現するような、展示の工夫はできる。インバウンドは基本的に欧米の方なので、英語で見てひと目で解るということが重要である。展示を解りやすくした上で観光ともリンクし、最終的には人を呼んで来てお金を落としてもらおう。そういったことも考えて進めてもらいたい。

〈教 育 長〉天守閣の耐震化についてはこの9月議会でも議論に挙がっている。利用者にとってお金を払うだけの価値があるものにしてほしい。また耐震化により展示機能が分散するので、利用者にとって利便性の高い観光施設にしていく必要がある。

施設の展示機能等については、今後はクラウドファンディングやふるさと寄附を活用するということだが、寄附金が集まらなかったために十分な保存ができず、またカビが生えてしまう、あるいは展示内容が中途半端になると本末転倒。しっかり展示機能への対応をすべき。

〈市 長〉五層天守で、木造で建て直す夢を100年後に持ちながら進めていただきたい。このプロジェクトに対するふるさと寄附やクラウドファンディングはお金集めだけが目的ではない。ふるさと寄附やクラウドファンディングを通じ、このプロジェクトに参画してくれる人数が盛り上がりの指標になり、そこにこそ価値があると思っているので、いかに多くの方がこのプロジェクトに参画するかということに注目して進めてもらいたい。

城の入場料を本丸の櫓門の所で取ればいいという意見もあるので、もっと直接的にお金も落ちるような仕組みも検討していただければと思う。

エレベーターは結婚式でも使うことも考えて、装飾を検討してほしい。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和5年 8 月 7 日

## 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 魅力創造部長 船橋 恵子

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

### 記

付議事項名	岸和田城天守閣耐震対策基本計画について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	令和3年度に設置した、岸和田城天守閣耐震対策検討委員会において審議し策定した「岸和田城天守閣耐震対策基本計画(案)」について、市の方針として承認を得たいため。
説明者	観光課 課長 井上 観光課 特命参事 頓花(公共建築マネジメント課兼務) 観光課 観光振興担当主幹 有留 観光課 担当長 瀬尾(郷土文化課兼務) 観光課 観光振興担当 竹川
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和5年度 第4回会議
付議事項	岸和田城天守閣耐震対策基本計画について

★取組の目的

対象	市民及び観光客
どのような状態を目指す	岸和田城は市のシンボルとして市民からも認知されており、本市では今後も市の発展に寄与する施設として後世に残していくべきであると考え、そのため本計画を策定し、引き続き市民から愛される岸和田城を適切に保存できる状態を目指す。

★総合計画上の位置付け

5020101	基本目標	にぎわいと活力を創造するまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	観光資源が活かされている
	個別目標の方向性	① 関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり
	行政の役割	観光施設の管理・運営など、観光客の受け入れ体制を整える

★現状と課題

令和元年度に実施した耐震診断の結果、岸和田城天守閣は震度6強以上の大地震時、倒壊または崩落の危険が高い結果となったことを受け、令和3年度より岸和田城天守閣耐震対策検討委員会を設置し、岸和田城天守閣耐震対策基本計画を策定するための審議を2か年かけて実施している。本計画において、岸和田城天守閣耐震対策に合わせて、バリアフリー化の手法についても検討を実施し、耐震対策としては、現状の天守閣をRC造壁ノンアンカー接着工法を中心とした方法で耐震補強することで保存していくこと、バリアフリー化として施設内にエレベーターを設置すること、施設内に入るために新たな階段と階段昇降機を設置することを検討している。また、耐震補強とバリアフリー化により、現状の天守閣が持つ資料展示・収蔵機能が継続できなくなるため、多聞櫓・隅櫓と観光交流センターの一部に同機能を移転させる方向で検討している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
委員会運営費用	252	189	292					
計画策定委託料	1,000		3,000					
地質調査委託(4,609千円)及び工法比較表委託(4,999千円)		9,608						
委託料(天守閣リニューアル構想策定484千円、耐震補強及びバリアフリー化工事設計28,096千円)				484			28,096	
天守閣耐震補強及びバリアフリー化工事(R11年度を見込む)								272,420
天守閣展示空調等改修費(R11年度を見込む)								128,066
財源内訳	国費		2,304					
	府費							
	起債							28,000
	一般財源	1,252	7,493	3,292	484			96
	その他				寄附等	寄附等	寄附等	寄附等
事業費			計	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
			429,066	484	0	0	28,096	400,486

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

人員増の必要性	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
有					
無					

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	目標値				
					R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R11年度
① 岸和田城入場者数	人	25392	46433	50000	50000	50000	50000	50000	55000
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。